

③輸入統計について

2020年オランダ産の輸入球数は、約7406万球、対前年96.9%、
2021年南半球産の輸入球数は、約2034万球、対前年100.6%で、
主に2021年に輸入された2つの年産を合わせると、下表の通り、約9440万球、
対前年97.7%となりました。

輸入年→	2020年	2021年	前年比
オランダ	7642万	7406万	96.90%
南半球	2021万	2034万	100.60%
合計	9663万	9440万	97.70%

詳しくは、ホームページに掲載の植物防疫統計をご覧ください。

当社では、輸入年2021年(20才産+21南半球産)の取扱い球数は、前年比100.5%
の横ばいとなっております。

コロナの2年間、将来への漠然とした不安はありましたが、おかげ様で弊社は
多くの素敵なお客様方に支えられ、変わりなく運営させていただいております。
皆様のご高配に心より感謝申し上げますとともに、オランダの輸出会社、育種会
社と協力し、更にサービスと百合の魅力向上を実現して参ります。

④コロナによる好景気となったオランダの切花市場

ロイヤルフローラホーランド花市場の、2021年の花全体の売上高は56億ユーロ
(円換算：約7300億円)を記録し、コロナ前の2019年の売上高48億ユーロを
大きく超えています。出荷量の変化は小さいため、売上高の増加は主に価格の上
昇によります。花や植物が、ほぼ全ての品目で、長い間これほど高い価格で販売
されたことはないそうです。

百合は、オランダでは約160ヘクタールの温室で生産され、2億6200万本(2020
年)が市場で販売されていますが、花全体同様に好景気のようにです。

さて、冬から春にかけて、愛妻の日(1月31日)、春節(2月1日)、バレンタイン
(2月14日)、国際女性デー(3月8日)、春彼岸(3月18~24日)、卒業や退
職、入学式、又、コロナで生まれた“おうち花見”など、百合が活躍するたくさ
んの場面を迎えます。

世界的にオイル相場が高騰しておりますが、ここはしっかりと加温していただ
き、需要に応じて出荷を早めて頂くと良いように思います。尚、変温管理は夕方
と早朝の温度を通常より上げて生育を促進する技術ですが、百合の場合、夜間の
温度を下げ過ぎると、逆に生育が遅れる可能性がありますのでご注意ください。

今年もよろしくお願い致します！